

十勝岳

1 概況（平成 15 年 1 月）

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。

2 噴煙活動の状況

雲などのため見えない日も多くありましたが、62-2 火口では活発な噴煙活動が続いており、噴煙高度は概ね火口上 200m 前後で推移しました。

3 地震活動の状況

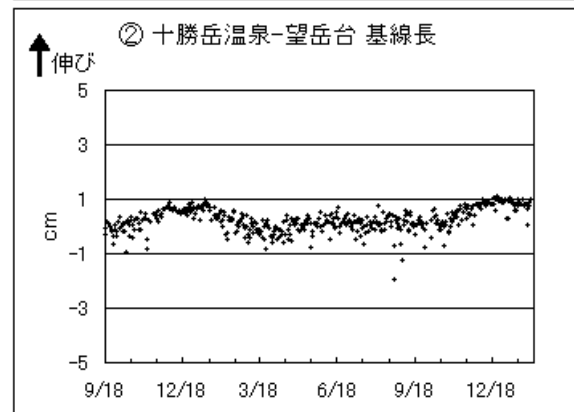
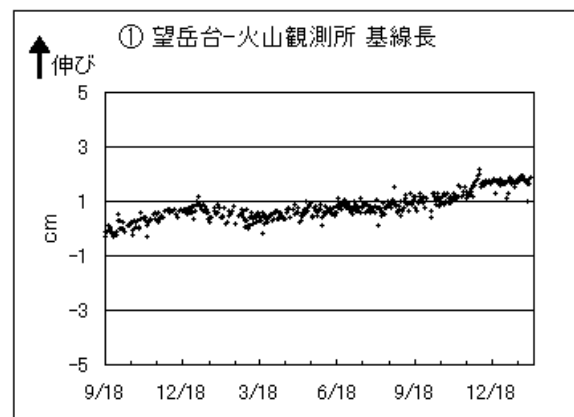
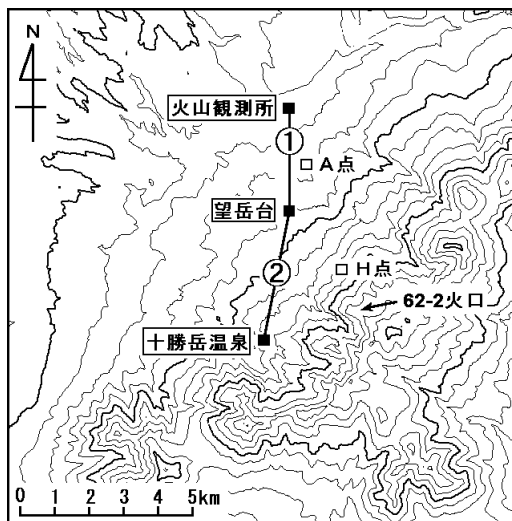
H 点の地震回数は 23 日に 17 回とやや増加したほか、8 日と 17 日にも 10 回となりましたが、これまでの活動の範囲内です。震源の多くは 62-2 火口周辺の浅いところと推定されます。火山性微動は観測されませんでした。

月別地震・微動回数

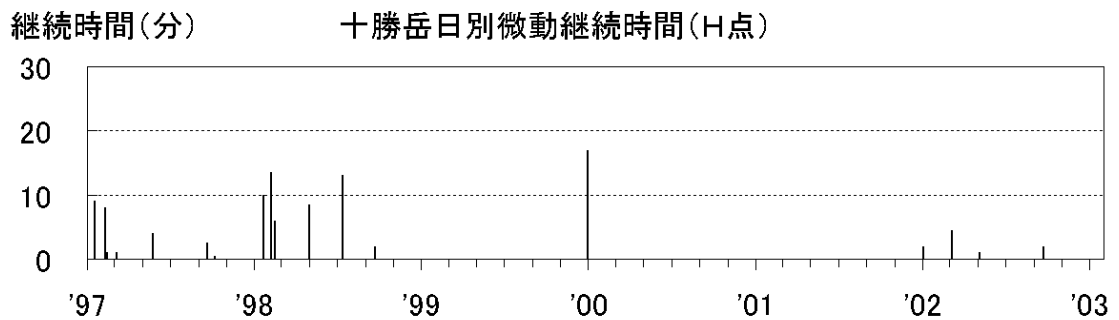
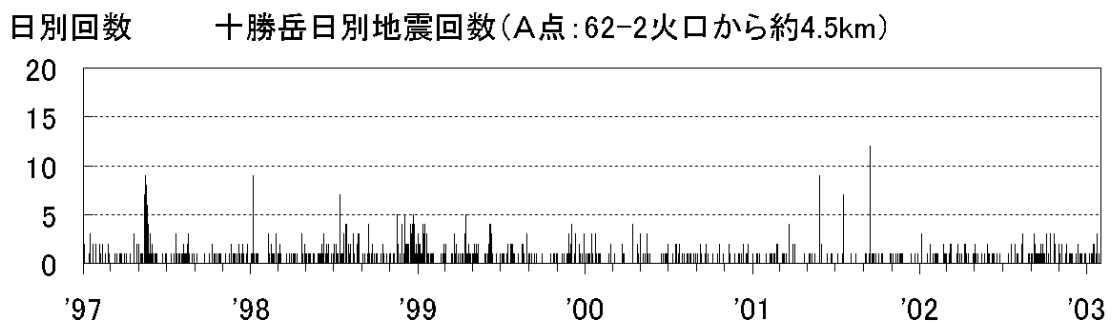
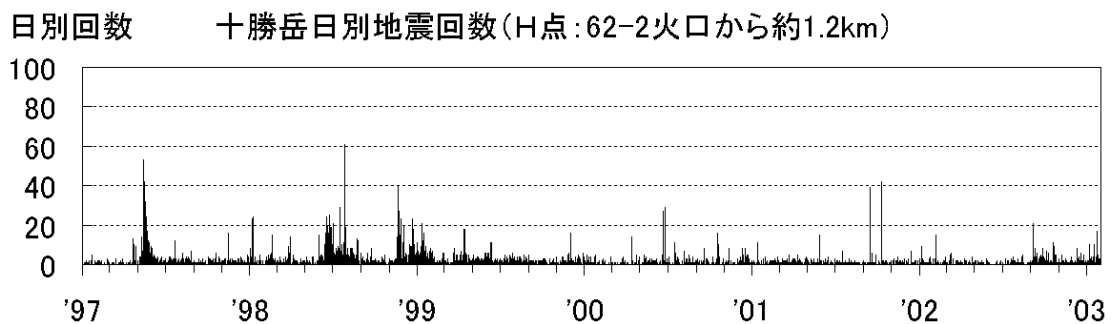
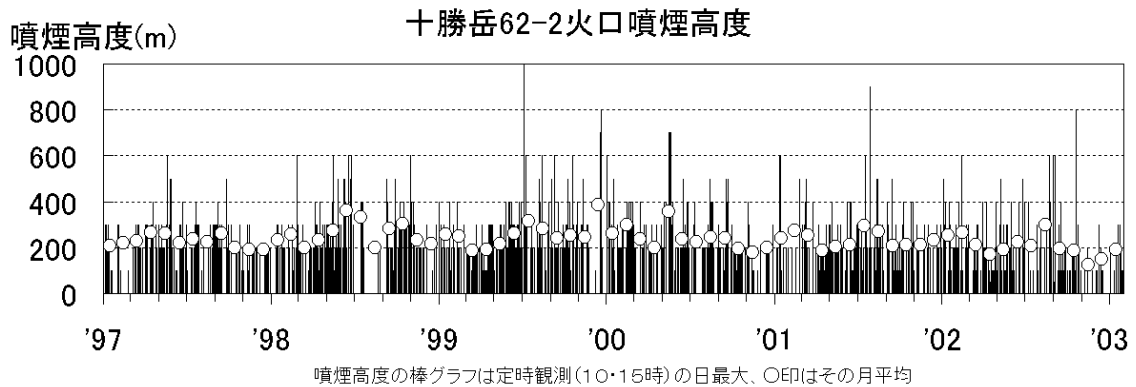
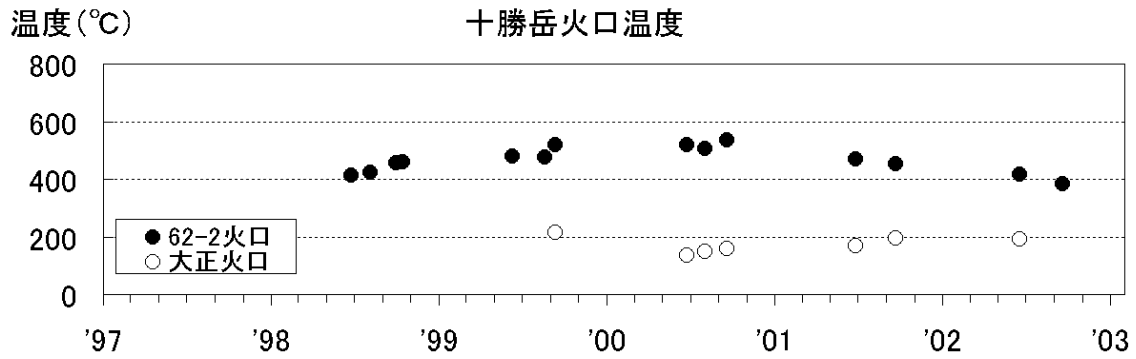
2002～2003 年	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
地震回数 H 点	42	34	30	28	14	28	28	113	96	47	54	93
地震回数 A 点	11	10	10	10	4	5	11	21	13	15	11	15
微動回数 H 点	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

G P S 観測で見られる基線長の変化は主に季節変動が原因と推定され、火山活動に起因すると思われる変化はありません。なお、今月から基線長グラフの縦軸の目盛を拡大して表示しています。



十勝岳基線長変化（2001 年 9 月 13 日～
2003 年 1 月 31 日）



十勝岳火山活動経過図（1997年1月1日～2003年1月31日）